



とっとり  
県政だより

Tottori Prefectural Newsletter

2022  
9

特集 P2

# もっとつながり、共に生きる 障がい者の情報アクセス推進

## P5・6 県政トピックス

- 9月12日はふるさとを考える日
- 県立夜間中学シンポジウム開催
- 産廃計画地周辺の地下水調査

## DATA

県人口/544,539人  
(男 260,432人、女 284,107人)  
世帯数/221,507世帯  
(2022年7月1日現在推計)

県からの  
お知らせ

## 楽しくお得に健康習慣を身に付けよう

健やかな体づくりに大切なことは、バランスのとれた食生活や適度な運動習慣。日々のウォーキングやスポーツ活動、野菜の摂取などに取り組んでポイントを貯めると、抽選で素敵な景品が当たるキャンペーンを実施中です。この機会に楽しみながら健康づくりを始めてみませんか。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

あるくと健康!うごく元気!キャンペーン

<https://19walk.jp/>



☎ 県庁健康政策課 ☎0857-26-7202 📠0857-26-8726



手話をしながら歌う子どもたち。さまざまな体験を通して学び、日々成長している(鳥取聾学校幼稚部)



@tottoripref



@tottori\_kouhou



@tottori.pref.kouhou

# 障がい者の情報アクセス推進

もつとつながり、  
共に生きる。

## 視覚障がい者への ICT機器購入支援

購入額の1/2を補助します  
(視覚障がい者が情報を取得し  
やすくなるための補助機能を備  
えたもの、それぞれ上限あり)



パソコン



スマートフォン



タブレット端末

- 拡大読書器
- プレクストーク  
(デジタル録音図書)の再生機器)
- ウェアラブル端末

真新しいノートパソコンの画面  
には見やすいように白黒を反転し  
たエクセルの表や、大きく表示され  
たマウスポインタ。「USBはここ  
に差します」「カーソルはこの位置  
に合わせて」。視覚障がいのある  
諸家昌司さんは、倉吉市内の自宅  
に派遣された社会福祉法人鳥取県  
ライトハウス点字図書館(米子市)  
の情報支援員の丁寧な指導を受け  
ていました。

## ICT機器で生活豊かに

障がいのある人の情報取得や意思疎通の環境を整える  
「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推  
進法」が、5月に成立しました。県では便利なICT(情報  
通信技術)機器の活用や支援体制の強化を進め、誰もが生  
き生きと暮らすことのできる社会を目指します。

諸家さんは、県が6月から視覚  
障がい者を対象に始めたパソコンな  
どの導入支援事業を利用してノー  
トパソコンを購入。福祉団体の役員  
や相談員を務めるようになったこと  
から、パソコンで情報収集や事務処  
理を行いたいと購入を決断。助成  
も大きな後押しになりました。

もともとデスクトップパソコンを  
所有していましたが、操作を教わっ  
ていた友人が5年前に亡くなってか  
ら使わなくなっていました。諸家さ  
んは「周囲に教えてくれる人がいな  
いと、パソコン操作の習得は難しい」  
と打ち明けます。

今は月1回、ライトハウス点字図  
書館の情報支援員の指導を無償で  
受けています。諸家さんは「視覚障  
がい者への指導法をわかっている支  
援員が来てくれてありがたい。便利  
に使いこなせるようになりたい」と  
意欲を燃やしています。

妻の則子さん(左)と一緒にパソコンを操作する諸家さん





## 県の今後の取り組み

最新技術と人材活用で  
便利に出掛けやすく！

### ■障がい者ICT相談窓口の設置

本人や家族などを対象に、ICT関連の相談対応や機器の貸し出し、ボランティア派遣を行います。

### ■ICTで公共施設の情報アクセスを向上

遠隔手話サービスや、音声認識で文字を表示するタブレット端末の配置を公共施設に拡大。手話を言語化する技術開発の実証実験にも参加しています。

### ■信号機への歩行者支援装置 (高度化PICS)導入

スマートフォン等に歩行者信号の交差点名や信号の色を音声や振動で提供するシステムを鳥取、米子両市2カ所の信号機に設置します。

### ■同行援護従事者の確保・育成

視覚障がい者の買い物や通院など日常的な外出をサポートする同行援護従事者の確保と育成を図ります。

## 手話言語国際デーのブルーライトアップ

9月23日の手話言語の国際デーを記念し、全世界でブルーライトアップを実施。「手話言語の聖地」である鳥取県でも、県内数カ所で行います。

☎ 県庁障がい福祉課

☎0857-26-7154 ☎0857-26-8136

## 希望を持てる 人生に



もろがまさし  
諸家 昌司さん

3年前からスマートフォンを使い始めた諸家さん。音声で必要な情報を検索したり、見えにくいものを写真に撮って拡大しルーペ代わりに使用したりと、今では生活に欠かせない存在になっています。職場では拡大読書器を利用、パソコンを新たに購入するなど、ICT機器の活用に積極的に取り組んでいます。生まれつき遠くが見づらい弱視ですが、「昔と比べるとさまざまな技術のおかげでとても過ごしやすくなった」と笑顔を見せます。

しかし、買い物の際の商品の値札やバスの時刻表の表示が小さくて見えづらいなど、まだまだ不便なことはあるため、さらなる技術革新を期待しています。

また、特別支援学校などでのICT活用教育がしっかりと提供されることを願います。「技術で補完すれば障がい者の就労の幅が広がり、結婚などへの意欲にもつながってくる。希望の持てる人生にするために、誰もが利用できる技術であってほしい」と話していました。



細かい文字を読むときに活用している拡大読書器

## マンパワーと 最新の技術に期待

県は障がいがあっても出掛けやすく円滑なコミュニケーションが可能な社会の実現に向け、さまざまな取り組みを進めています。

視覚障がい者の買い物や通院などをサポートする同行援護従事者は不足する状況が続いています。支援を受けられないため、遠方の総合病院を紹介された一人暮らしの当事者が受診を先延ばしする事態も生じています。

県では今年度から、同行援護従事者養成研修(都道府県主催研修を除く)の受講料の一部助成を行い、人材確保を後押し。福祉系学科のある高校や専門学校を直接訪問して、同行援護制度の紹介や周知も行っています。

また、障がい者のICT相談窓口の設置や公共施設への遠隔手話サービス導入、視覚障がい者を安全に誘導する信号機の設置などを計画。手話を読み取って言語化する機器の開発に向けた民間企業の実証実験にも協力しています。

# きこえない・きこえにくい子どもの サポートセンター開所

## 親子に切れ目ない支援を

「きこえない・きこえにくい子ども  
のサポートセンター」（愛称・き  
き）が7月、鳥取市に開所しまし  
た。聴覚障がい者やきこえない子ど  
もの子育て経験者が支援員を務  
め、悩みや不安に寄り添います。

難聴は早期に発見して適切な療  
育を行うことにより、自立した生  
活を送るために必要な言語・コミュ  
ニケーション手段の獲得につながる  
といわれています。同センターが学  
校や行政、医療などをつなぐ中核  
機関として、子どものきこえに不安  
を抱える保護者の相談先となり、  
適切にサポートします。また、福祉

と教育が連携する協議会を設置。  
乳幼児から大人になるまで切れ目  
ない支援を提供します。

同センターは、県聴覚障害者協  
会が県から委託を受けて運営しま  
す。各都道府県で整備が進む聴覚  
障がい児支援機関で、当事者団体  
の運営は全国初。当事者や聴覚障  
がい児の子育て経験者、手話通訳  
者の姿を実際に見てもらうことで、  
子どもや保護者が将来を考えた  
り子育ての見通しを立てたりする  
上でのロールモデル（手本）にな  
ると考えています。



「拍手」の手話で祝う開所式の出席者



キッズスペース



赤ちゃん連れでも利用しやすい相談室



聴覚障がい児の子育て経験を持つ  
「きき」支援員

やま なか かおる  
山中 薫さん

「一番伝えたいのは『大丈夫』と  
いうこと。コミュニケーションの  
方法が違うだけです」

優しい笑顔で語る山中さん自身、きこえない子ども  
を育てた経験があります。まだ手話への理解が進ん  
でいなかった時代。情報は得にくく手探り状態でした  
が、周囲の支援を受けながら前向きに子育てに取り組  
んできました。

ショックを受けて暗い顔をしている保護者と出会う  
こともあり、「話を聞いたり、自分の経験をもとにアド  
バイスしたりして力になれば」と支援員を務めること  
を決めました。

今はインターネットなどからさまざまな情報が得ら  
れる情報過多の時代。正しい情報の選別が難しくなっ

「みんな笑顔で」正しい情報伝えたい

ています。子どもの聞こえや家庭の状況によって、進  
学先や療育のあり方は変わってきます。それぞれの状  
況に合わせて自分たちでより良い選択をするために、  
「確実な情報を提供したい」と考えます。

相談はもちろん、保護者同士の交流の場も計画中。  
雑談に由来する感覚で「きき」を訪ねてほしいと願っていま  
す。「聞こえていても聞こえていなくても、子育てにはそ  
れぞれに悩みはあります。子どもにとって、家族が笑  
顔でいるのが一番」と呼び掛けました。



子どもたちが種を植え、水やり  
して育てたヒマワリ（鳥取聾学  
校幼稚園）

きこえない・きこえにくい子どものサポートセンター「きき」

所 鳥取市桜谷173-21 時 午前9時～午後5時（土・日・祝日を除く）  
☎0857-50-0170 📠0857-50-0176 <https://torideaf.jp/kiki>



問 県庁子ども発達支援課

☎0857-26-7865

📠0857-26-8136



**TOTTORI** みんなが地域づくりの主人公に ~9月12日はふるさとを考える日~

**とっとり県民の日関連イベント**

**【施設の無料開放・入場割引】**

郷土を考えるきっかけづくりとして、公立施設の無料開放や入場料の割引が実施されます。

**【とっとり県民の日イベント】**

○イオンモール鳥取北(鳥取市晩稲)

9月9日(金)~12日(月)

- ふるさと鳥取を知るパネル展示
- 鳥取県の特産品販売(9日~11日)
- ステージイベント、ワークショップ(※)

○イオンモール日吉津(日吉津村日吉津)

9月10日(土)~12日(月)

- ふるさと鳥取を知るパネル展示
- ワークショップ(※)

○県内スーパーマーケット

各協力店舗で、県産品の特設コーナーや農産物直売所の設置など、地域の食材を通じた鳥取の魅力を発信

(※)10日・11日のみ実施。新型コロナウイルス感染症の状況により中止する場合があります

各イベントの詳細は、ウェブサイトをご確認ください。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/0912/>



**ボランティア総合情報サイト「ボランとり」**

福祉やまちづくりなど、地域活性化に取り組む県民・団体・企業を応援するウェブサイトです。

活動を知りたい人、参加したい人、仲間を募りたい人などに役立つ情報を発信しています。

<https://reiwashinzidai.pref.tottori.jp/>



**県職員の社会貢献活動「福業」を応援**

たけはら しゅうろう  
県庁医療政策課 係長 竹原 周郎さん

竹原周郎さんは、県サッカー社会人リーグの競技会の運営に携わるなど、県内のサッカー振興に尽力しています。また、サッカー4級審判員の資格を持ち、他チームメンバーとも協力して、リーグの審判も行っています。

社会貢献活動から得られる学びは、本業の貴重な糧。県は「福業」活動を行う職員を応援しています。

問 県庁職員支援課

☎0857-26-7608 F0857-26-8109

✉shokuinshien@pref.tottori.lg.jp



審判を務める竹原さん(左)。地域のスポーツ活動はこのような一人一人の活動に支えられている

**望ましい「公務員の福業」とは**

- 時間外の活動 ○活動目的が非営利 ○報酬の金額や性質が適当
- 雇用関係がない ○公務員として中立公正、品位を保持

(出典)望ましい「公務員の福業」ガイドライン(地域に飛び出す公務員を応援する首長連合)

9月12日は「とっとり県民の日」。現在の鳥取県が誕生した1881(明治14)年9月12日を記念して制定されました。この日をきっかけに、鳥取を元気にするために自分ができることを考えてみませんか。

とっとり県民の日は、「ふるさとを愛する心を育み、自信と誇りの持てる鳥取県を県民皆が力を合わせて築き上げることを期する日」として定められました。地域の発展のため、一人一人が役割を担い、行動することが期待されています。

人口減少や高齢化が進む現代。誰もが心豊かに暮らせる未来に向け、住民主体の地域づくりはますます重要となつていきます。例えば、倉吉市の子ども食堂「ほっとここ」が目指すのは住民が集い、支え合う交流拠点。食事の提供や学習支援を通じて幅広い世代の交流を促し、子育て支援や高齢者の生きがいを

問 県庁県民参画協働課

☎0857-26-7753 F0857-26-8112 ✉kenminsankaku@pref.tottori.lg.jp



## 「学びたい」に応える ～県立夜間中学シンポジウム開催～

### 県立夜間中学校開校シンポジウム

事前申し込みが必要です。

**日** 10月2日(日)午後1時30分から午後4時まで

**所** 鳥取市総合福祉センターさざんか会館(鳥取市富安)

※会場に夜間中学に関する相談コーナーを設けます。別日程で中・西部地域でも個別相談会を開催予定です

※新型コロナウイルス感染症の状況により、開催方法を変更する場合があります

#### ○どこにできるの？

鳥取県教育センター(鳥取市湖山町北)の情報教育棟1階にできます

#### ○どんな人が入学できるの？

県内在住で、義務教育の年齢(15歳)を超えた人のうち、中学校を卒業していない人や十分に学べなかった人が対象です(国籍不問)

#### ○どのように学ぶの？

週5日、原則3年間の通学で中学校の全教科を学習します

#### ○費用は？

授業料や教科書代は全て無料です

詳しくはウェブページをご覧ください

<https://www.pref.tottori.lg.jp/305609.htm>



**問** 県教育委員会事務局小中学校課

☎0857-26-7500 F0857-26-8170

✉nightschool-j@pref.tottori.lg.jp

2024年4月、鳥取県に初めて「夜間中学」が誕生します。夜間中学は、国籍を問わず義務教育の年齢(15歳)を超えている人のうち、もう一度中学校の学習内容を学びたい人が「安心して学べる場」。開校に向けて、夜間中学への理解を広げるシンポジウムを開催します。

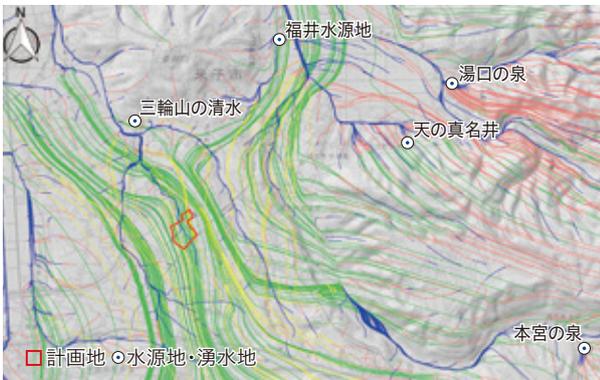
県立夜間中学は、夜の時間帯に授業を行う、これまでになかった中学校。小学校や中学校を卒業していない人や病気や不登校などを理由に十分に学べなかった人、そのどちらかにあてはまる外国籍の人などが世代や国籍を超えて共に学び、触れ合うことのできる学校です。全課程の修了で中学校卒業資格を取得可能。進学や就職の道も開かれています。学ぶ意欲さえあれば、何歳でも決して遅すぎることはありません。

シンポジウムでは、他県の取り組みの紹介や開校に向けたスケジュールの案内、パネルディスカッションなどを予定しています。ぜひご参加ください。

## 地下水の流れ明らかに ～産廃計画地周辺の地下水調査～

### 計画地周辺の地下水の流れ

- 地下水が通る地層ごとに異なる色の線で表しています
- 計画地の地下水は、「福井水源地」や「三輪山の清水」方向へ向かっていません
- 計画地の地表から浸透する地下水は、水を通しにくい地層によって福井水源地の水が流れる地層とは遮断されています



※調査結果や会議資料・会議録などの詳細は、ウェブページをご確認ください



**問** 県庁淀江産業廃棄物処理施設計画審査室

☎0857-26-7498 F0857-26-8189

<https://www.pref.tottori.lg.jp/sanpai/>



米子市淀江町の産業廃棄物管理型最終処分場計画地について、7月2日に第9回地下水等調査会が開催され、約2年半をかけた調査の最終結果が取りまとめられました。

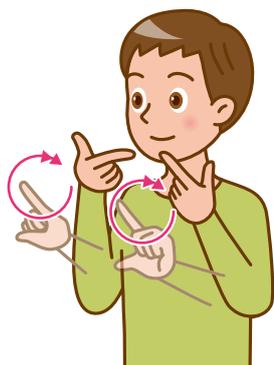
会議では、これまでの調査・解析結果に基づき、①計画地の地表から浸透する地下水は「福井水源地」や「三輪山の清水」へ向かっていない②「福井水源地」の取水源である第3帯水層(※)の上部には水を遮る粘土層があるため、水源に影響するような懸念材料はない③「三輪山の清水」付近の地下水位が高く、計画地を流れる地下水は到達しないことから、「三輪山の清水」に影響が及ぶ可能性は極めて低い」と結論づけられました。

会長を務めた嶋田純・熊本大学名誉教授も「妥当性・科学的信頼性の高い内容」との評価。県は調査結果を地元自治会や県民へ説明するとともに、関係資料を広くウェブページで公開しています。

(※)一帯には地下水が蓄えられている地層である「帯水層」が3つあり、地表から順に第1～第3の帯水層が広がっている



## 手話を覚えてみよう ▶▶ 「毎日、野菜」



直角に伸ばした両手2指を向き  
合わせ、後ろ回りに回す



指を開きやや曲げた状態で向き  
合わせた両手を上げ、二段に丸み  
を描く

9月は食生活改善普及運動月間。一日の野菜摂取量の目標は一人350gですが、鳥取県民の平均は約280gで70g足りません。いつもの食事にあと1皿、野菜をプラスしましょう。

県では、皆さんに募集した忙しい朝でも簡単に調理できる野菜料理レシピを料理集にまとめました。朝食に野菜を取り入れて、バランスの良い食生活を目指しましょう。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/290810.htm>



監修／公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会  
☎0859-30-3720 F 0859-30-3131 <https://torideaf.jp/>



## 読者の声

(7月号の意見・感想から)

- 赤ガレイの子まぶりなど初めて聞く料理が紹介されていました。境港の魚は新鮮でおいしいので、挑戦してみたいです。(40代)
- 住宅の省エネ改修助成の記事は、リフォームを検討する良い機会になりました。(30代)
- 台風などの土砂災害に気をつけるとともに、新築や引っ越しの際には盛り土のこともきちんと知っておきたいです。(20代)
- 夏と秋に計画中の大山登山では、「コンパス」で登山計画を作成して安全に登頂したいです。(50代)
- みらくレシピのスムージーを暑い日に作りました。バナナアイス入りは初めてで新鮮でした。(20代)



7月号には1,184人からご意見をいただきました。ありがとうございます。これからもご意見、ご感想をお待ちしています。



## 県産品プレゼント

## 星空舞米粉チュロス(5本セット)【5名】

県産ブランド米「星空舞」の米粉を使用。外はサクサク、中はもちもちの食感を自宅で揚げて簡単に味わえます。小麦粉や卵を使わずアレルギーに対応。和三盆仕立てのオリジナルシュガー、ムラサキイモなど5種のフレーバー付き。



問 グリルダイバーnut'710(倉吉市駄経寺町)  
☎050-6866-0895

Q  
クイズ

明治14年に現在の鳥取県が誕生した日にちなみ、平成10年に制定された「とっとり県民の日」は次のうちどれでしょう。

ヒントは  
5頁

①7月14日 ②9月12日 ③10月1日

## 【応募方法】

クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、年齢と「県政だより」を読んだ感想・意見をお書きの上、次のいずれかの方法でご応募ください。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。はがきなどに書かれた個人情報、感想・意見は、プレゼントの発送と「県政だより」記事作成の参考として使用し、これらの目的以外には使用しません。

■応募締め切り 9月20日(火)必着



- はがき 〒680-8570 鳥取県広報課「県産品プレゼント」
- 電子メール [dayorip@pref.tottori.lg.jp](mailto:dayorip@pref.tottori.lg.jp)
- 県ウェブページ応募フォーム  
<https://www.pref.tottori.lg.jp/dayorip/>

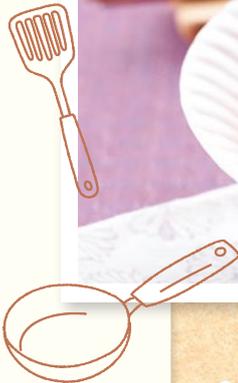
7月号のクイズの答えは「①コンパス」でした。

[材料] (4人分)

- かぼちゃ.....1/4個
- 牛乳.....300ml
- 鶏ひき肉.....120g
- めんつゆ(3倍濃縮).....大さじ2
- 水溶き片栗粉
  - 片栗粉.....適量
  - 水.....適量

[作り方]

- ①かぼちゃは所々皮をむき、わたの部分を取って2cm角に切る。
- ②鍋に牛乳、めんつゆ、鶏ひき肉、かぼちゃを入れて中火で煮る。煮立ったら弱火にして約10分煮込む。
- ③②のかぼちゃがやわらかくなったら水溶き片栗粉を加えて、全体にかからめる。



Milk Recipe

# かぼちゃのそばろ煮

【協力】大山乳業農業協同組合

県からの  
お知らせ

## 県職員採用試験(障がい者対象・高校卒業程度)

2023年度から県で勤務する職員の採用試験を行います。詳細は受験案内をご覧ください。

- 募集職種/事務、警察行政 ■第1次試験日/10月23日(日)
- 対象者/身体障害者手帳(1級から4級)または精神障害者保健福祉手帳を交付されている人
- 受験資格/1983(昭和58)年4月2日から2005(平成17)年4月1日までに生まれた人
- 申込方法/インターネット、郵送、持参
- 申込期限/9月14日(水)消印有効  
 ※インターネット申し込みは14日午後5時まで

問 甲 県人事委員会事務局

〒680-8570 鳥取市東町1-271  
 ☎0857-26-7553 F0857-26-8119  
<https://www.pref.tottori.lg.jp/jinji/>



## 温泉×アート! 美作三湯芸術温度

### 岡山県からのお知らせ

西日本有数の温泉地である美作三湯(湯原・奥津・湯郷)で、現代アート作家が作品を制作・展示する「美作三湯芸術温度2022」を開催します。今回は、25の旅館などに過去最多の26名のアーティストが参加し盛り上げます。宿泊者以外も自由に鑑賞できるので、紅葉の季節に温泉×アートの不思議な組み合わせをご堪能ください。

- 会期/8月27日(土) ~12月4日(日)



問 岡山県文化振興課

☎086-226-7903 F086-233-5720  
<https://www.pref.okayama.jp/site/art/list500.html>



Be Happy. アークスの家 国産檜使用 高断熱 デザイン住宅 高品位住宅

## オープンハウス公開中



ご見学を希望される方は下記までお気軽にご連絡ください

森と家族を守る家づくり 国産檜の家 **株式会社アークス**

●建設部/鳥取県東伯郡北栄町東園305-3 TEL.0858-37-3101  
 ■宅地建物取引業者免許 鳥取県知事(第)1345号 ■特定建設業 鳥取県知事 許可(特-29)第6991号



## お客様の未来に

ゆとりと、  
安心を。



【無料相談承ります】  
 新型コロナウイルス感染症に対応した  
 これからの時代に備えた保険があります。  
 気軽にお問い合わせください。  
 平日/9:00 ~ 18:00

SOMPO 損保ジャパン 代理店 SOMPOひまわり生命 代理店

## 有限会社 諸家保険企画

〒680-0905 鳥取県鳥取市賀露町122 TEL.0857-28-6088

※広告は広告主の責任において掲載しています。広告内容などを県が推奨するものではありません。